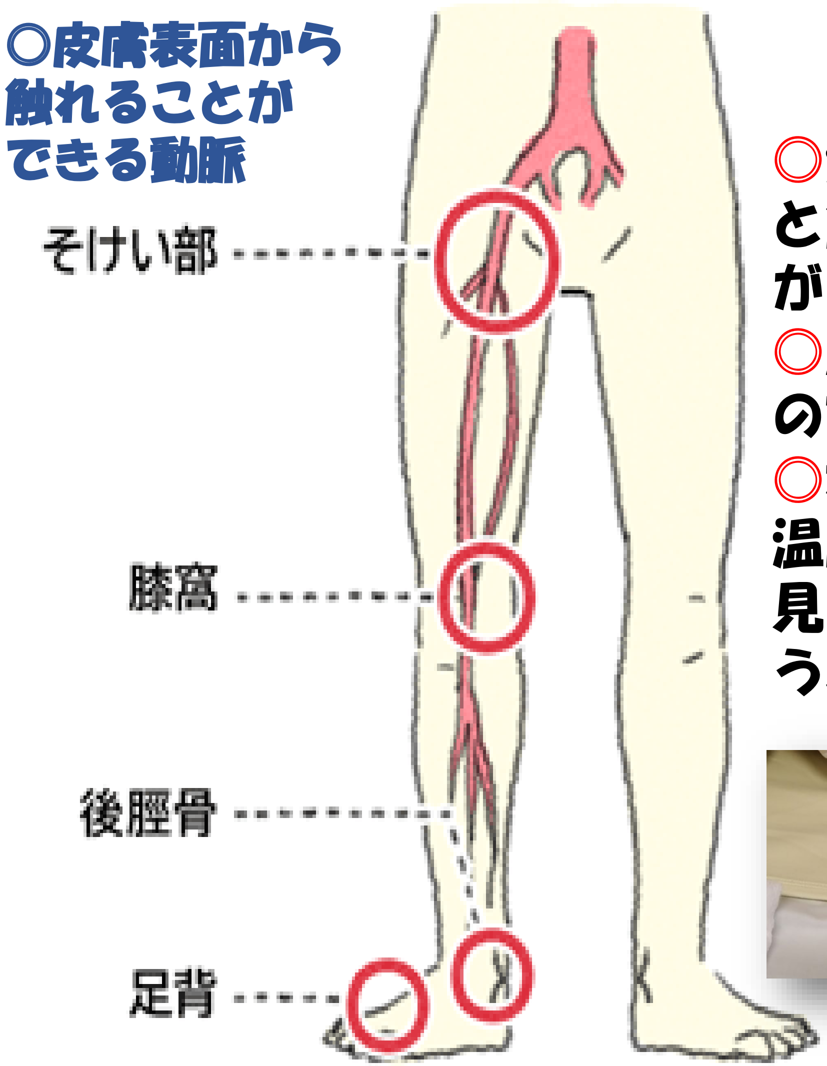
フットケア実技

「動脈触知・ABI編」

まずは、足を両方揃えて、色の変化を見る
まずは、足を両方触って、温度差をみる

◎皮膚表面から触れることができる動脈



◎浮腫みがあると触れないことがある
◎足背は約20％の方が触れない
◎左右、極端に温度が違う、見た目に色が違う、などは注意

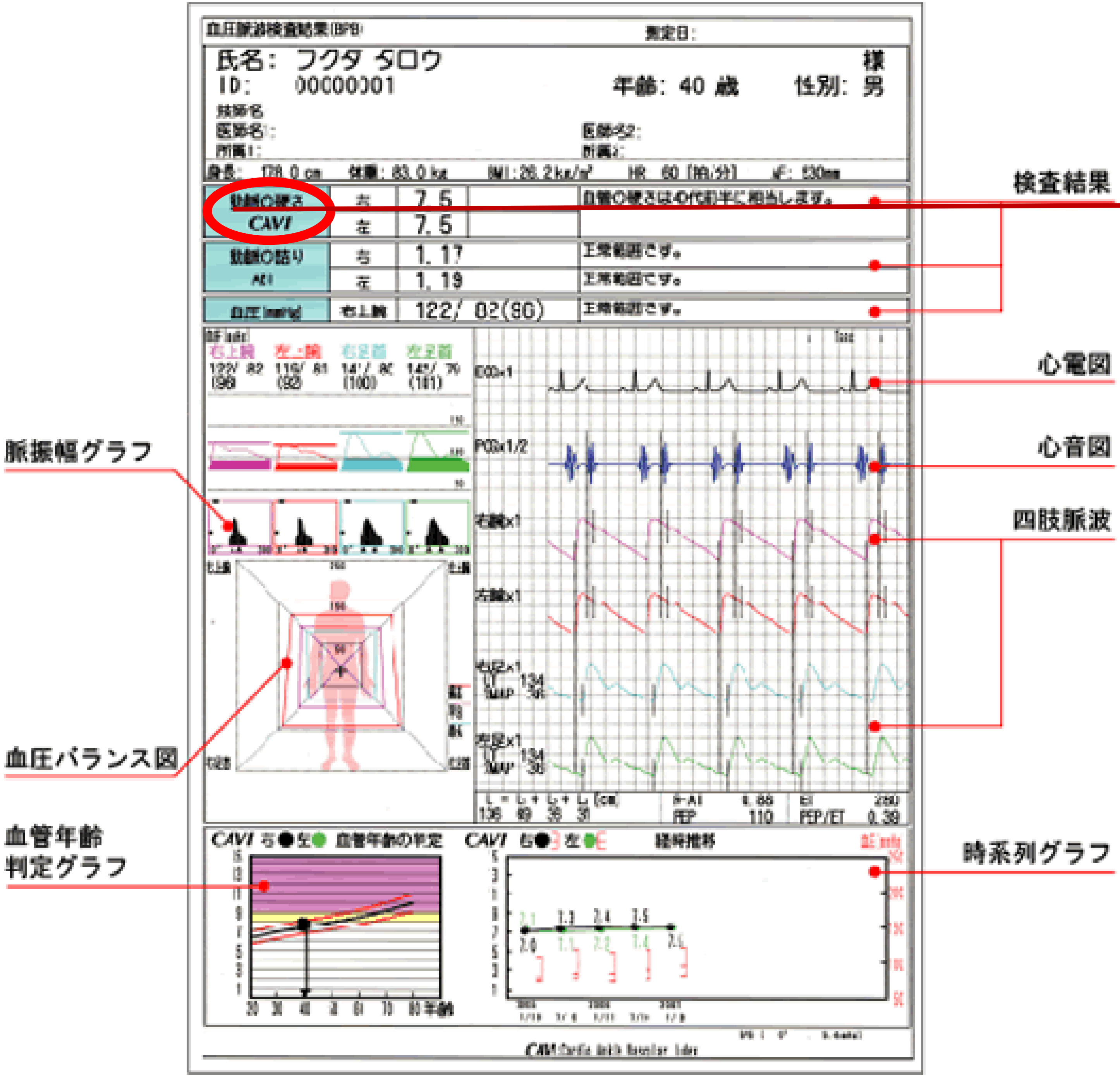
◎誰でも簡単に出来る足の血流確認方法

ABI（Ankle Brachial Pressure Index）
足関節上腕血圧比

ABIは、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標
上腕と足首の血圧から算出される。
ABIは非侵襲的な検査で数値として評価できるので、
PAD患者の早期発見に有用である
。PAD（末梢動脈疾患）は、心血管疾患や脳血管疾患
など他臓器障害との合併が多く見られることからも、
早期発見が重要となる。

早期発見、だれがやる？
医師の指示待ちでは、
早期発見につながらない

ですよね。



ここにも注目！

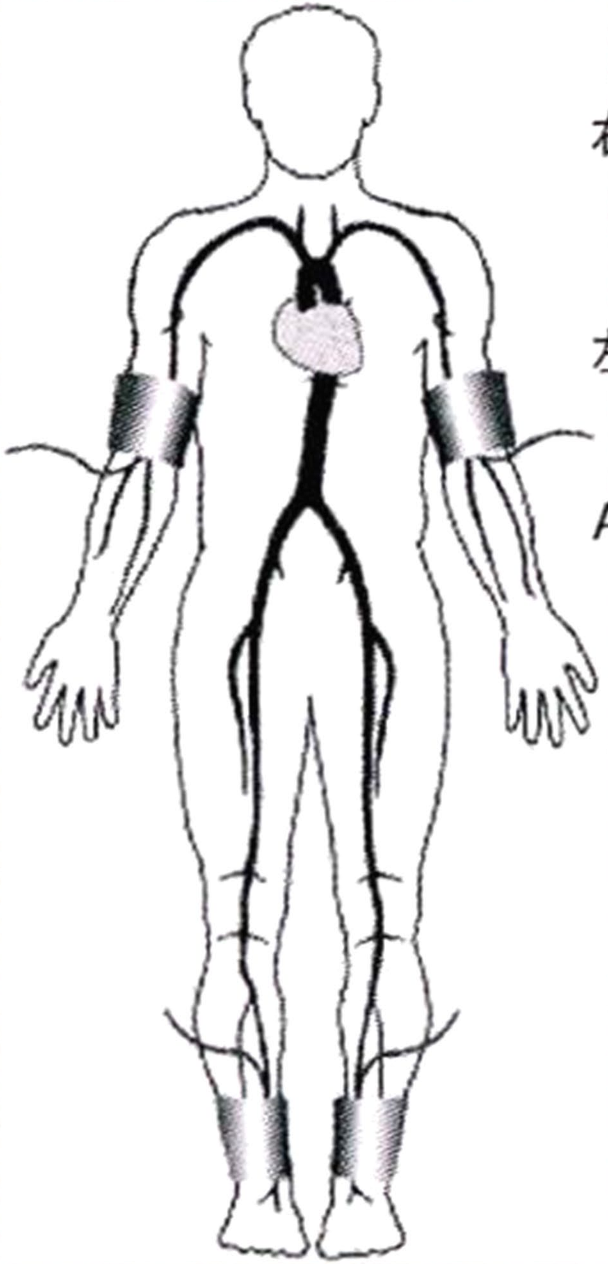
👣動脈の硬さの指標 CAVI
CAVI（Cardio Ankle Vascular Index）

CAVI（キャビィ）は大動脈を含む「心臓（Cardio）から足首（Ankle）まで」の動脈（Vascular）の硬さを反映する指標（Index）で、動脈硬化が進行するほど高い値となる。
大動脈の進展性の低下は心疾患の発症や予後を規定する因子となることが知られており、早期診断と管理に役立つ。
さらにCAVIは頚動脈エコー等で測定されるスティフネスパラメータβ法に基づき算出され、血圧に依存されない血管固有の硬さを表す。

● CAVI基準値

CAVI＜8.0	正常範囲
8.0≦CAVI＜9.0	境界域
9.0≦CAVI	動脈硬化の疑い

資料：フクダ電子HPより～https://www.fukuda.co.jp/



$$\text{右側ABI} = \frac{\text{高い方の右側足関節収縮期血圧（後脛骨動脈または足背動脈）}}{\text{高い方の上腕収縮期血圧（左側または右側）}}$$

$$\text{左側ABI} = \frac{\text{高い方の左側足関節収縮期血圧（後脛骨動脈または足背動脈）}}{\text{高い方の上腕収縮期血圧（左側または右側）}}$$

ABI;足関節上腕血圧比

●ABI基準値(2011年 ACC/AHA基準)

1.41≦ABI	足首の血圧が高めです
1.00≦ABI≦1.40	正常範囲です
0.91≦ABI≦0.99	正常範囲ですが境界領域です
ABI≦0.90	末梢動脈疾患の疑いがあります

ABI機器がなくても血圧計と計算機があれば算出可能